

大会名 Competition	2018年度 第69回 秋田県民体育大会バスケットボール競技 兼第73回「福井しあわせ元気国体」秋田県代表スタッフ・選手選考会				
NO.	0 B 3	Year	Month	Day	Time
場所 Place	能代市総合体育館				



チームA 能代工業高校 A	82 ○	20 1st 18 30 2nd 9 13 3rd 21 19 4th 18 OT	チームB 秋田南高校A 66 ●
---------------------	---------	---	---------------------------

主審:Referee
谷 地 温 秋田 S
第1副審:1st Umpire
田 中 直 幸 秋田 B
第2副審:2nd Umpire
京 極 幸 村 秋田 B
テーブルオフィシャル:Table officials
秋田県立能代松陽高等学校
男子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	遠 田 貴 大	CAP	0	0	0	0	3	4	×	青 山 竜 也	CAP	20	0	8	4	3
5	×	新 田 由 直		23	0	11	1	2	5	×	鈴 木 龍 太 朗		12	3	1	1	2
6	/	牧 野 湧		2	0	1	0	3	6	×	茂 木 怜 央		15	1	6	0	2
7	/	齋 藤 創		8	1	2	1	3	7	×	関 海 空		14	3	2	1	0
8		高 橋 日 向		-	-	-	-	-	8		佐 藤 拓 未		-	-	-	-	-
9	×	佐 藤 侃		14	2	4	0	0	9	×	岡 部 皓 心		5	0	2	1	4
10	×	秋 元 淳 之 介		25	1	10	2	1	11	/	成 田 有 佑		0	0	0	0	0
11	/	須 藤 陸		3	1	0	0	0	12		鳥 井 寛 弥		-	-	-	-	-
12		伊 東 翼		-	-	-	-	-	13	/	新 保 星 弥		0	0	0	0	0
13	×	中 山 玄 己		4	0	2	0	3	14		畠 沢 俊 毅		-	-	-	-	-
14		上 村 大 佐		-	-	-	-	-	17		佐 藤 遼 哉		-	-	-	-	-
15		佐々木 駿 汰		-	-	-	-	-	18		佐 藤 歩		-	-	-	-	-
16		佐々木 偲 遠		-	-	-	-	-									
17		森 山 陽 向		-	-	-	-	-									
18		伊 藤 誠 馬		-	-	-	-	-									
19	/	大 石 隼 隼		3	1	0	0	1									
20		木 村 三 星		-	-	-	-	-									
合 計				82	6	30	4	16	合 計				66	7	19	7	11

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1ピリオド:能代工高はオールコートマンツーマン。秋田南高はハーフコートマンツーマンでスタート。開始早々、能代工高#10秋元が2本のフリースローを確実に決め先制する。秋田南高は#4青山のゴール下、#7関、#5鈴木の3Pなどで一時12対5とリードする。能代工高は、#19大石、#11須藤の3P、#10秋元のドライブなどで逆転に成功し、20対18で能代工高がリードして終了。

第2ピリオド:能代工高は#5新田のポストプレー、#7齋藤のインターセプトからの速攻が決まり、リードを広げる。その後もリバウンドからの速攻など速い展開で攻撃し、連続13得点などで点差を広げる。秋田南高は#4青山を中心に攻めるが、思うように得点が伸びない。タイムアウトなどで立て直しを試みるが、大きく流れを変えるには至らず、50対27の能代工高リードで前半終了。

第3ピリオド:秋田南高は、#6茂木のゴール下、#5鈴木のドライブや3Pで反撃開始。その後もインサイドとアウトサイドからバランスよく加点する。能代工高は#10秋元、#9佐藤などの得点で応戦するが、ターンオーバーなどのミスが目立ち、このピリオドは秋田南高が優位に試合を進める。63対48の能代工高リードで終了。

第4ピリオド:両チームともに激しいディフェンスで勝利への執念を見せる。秋田南高は#4青山のゴール下、#7関の2本の3Pなどで加点すると能代工高は#9佐藤、#10秋元のリバウンドシュートなどで応戦する。このピリオドは一進一退の攻防が繰り返されるが、能代工高が前半のリードを守り切り、82対66で勝利。2年連続58回目の優勝を飾った。